

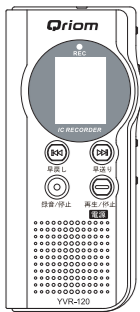
YVR-120 取扱説明書



LPモードで最長約1080時間の録音ができます。

省電力
一定時間操作しない場合、スタンバイモードになる省電力機能を搭載しています。

LP(低音質)、SP(標準音質)、MP(高音質)、HP(最高音質)の4つの録音モードを搭載。



キュリオムサポートセンター

0570-00-9106

受付時間：月～金 午前10時～午後5時30分（土・日・祝祭日・年末年始を除く）
※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。
メールでのお問い合わせは E-mail：support@qriom.com
ホームページ：http://www.qriom.com

目次

- 1.安全上のご注意
- 2.付属品
- 3.各部の名称
- 4.USBケーブルの使い方
- 5.電池の入れ方
- 6.ディスプレイ説明
- 7.電源を入れる、切る
- 8.イヤホンを使用する場合
- 9.イヤホンを使用する場合
- 10.外部マイクを使用する場合
- 11.時計の設定
- 12.録音モードの設定
- 13.録音の仕方
- 14.再生の仕方
- 15.早戻し/早送り
- 16.ボリュームの調節
- 17.リピート再生
- 18.A-Bリピート再生
- 19.ファイルの削除
- 20.フォルダ内の全てのファイルを削除する
- 21.ホールド機能
- 22.VOX機能
- 23.マイク感度
- 24.他機器からの録音
- 25.他機器への録音
- 26.ご注意
- 27.トラブルシューティングFAQ
- 28.アフターサービス
- 29.お手入れの仕方
- 30.点検のお願い
- 31.故障かな?と思ったら
- 32.仕様
- 33.著作権について

1 安全上のご注意

※ご使用前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが予想される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵の表示の例

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

- 水ぬれ禁止** ● 本体内部に水や異物を入れない
● 火災や感電、故障の原因になります。
- 煙がでたり、異常な音や臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない禁止** ● 火災や感電の危険があります。
- 浴室、シャワー室など湿気のある場所では使用しない浴室使用禁止** ● 火災や感電、故障の原因になります。
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない。分解禁止** ● 発火したり、異常動作をしてけがの原因になります。
- 自動車やオートバイの運転中は使用しない禁止** ● 運転中の機器の操作は交通事故の原因になります。
- 落下させた機器やカバーやケースの壊れた状態で使用しない禁止** ● 火災や感電の原因になります。
- 乾電池は充電しない禁止** ● 乾電池の破裂、液漏れにより、火災や怪我の原因になります。
- 自動車のエンジンルームで充電しない禁止** ● 乾電池の破裂、液漏れにより、火災や怪我の原因になります。

注意

- 湿気やほこりのある場所で使用しない禁止** ● 火災や感電、故障の原因になります。
- 自動車内など高温になる場所に放置しない禁止** ● 機器の変形や故障の原因になります。
- 大音量で長時間続けて聞きすぎない禁止** ● 聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- はじめてからボリュームを上げすぎない禁止** ● 突然大きな音でて耳を痛める原因となります。

本機使用上のご注意

- 万一、本機内に異物が入ったときは、電源を切りお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機を使用しないときは、乾電池をはずして保管してください。

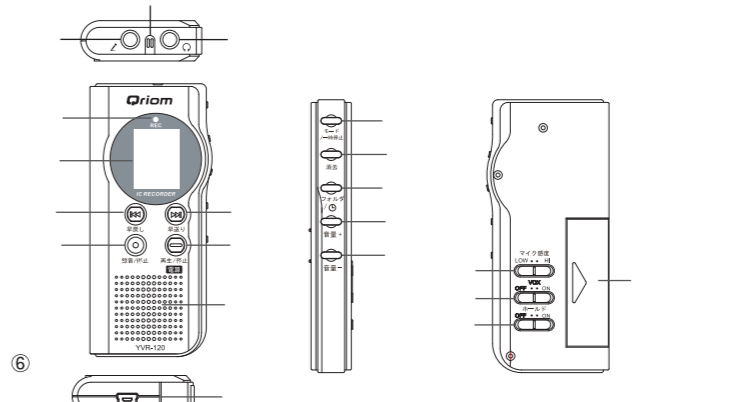
電池について安全上のご注意

- 危険** 火の中へ入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 警告** 指定以外の電池は使用しない。
長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
液もれが発生した場合は、電池ケースについて液をよく拭き取り、新しい電池を入れてください。万一、洩れた液が体に付着した場合は、水でよく洗い流してください。電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。また、乾電池は液もれにより機器を侵食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。
- 注意** 電池の極性表示(⊕プラスと⊖マイナス)に注意し、表示通りに入れる。

ノイズについて

- 録音中や再生中にICレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中にICレコーダーに手などが当たったり、こすったりすると、雑音が入ることがあります。

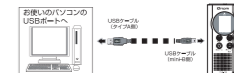
各部の名称



- ① 外部マイクジャック
- ② 内蔵マイク
- ③ イヤホンジャック
- ④ 録音ライト
- ⑤ 液晶画面
- ⑥ 早戻しボタン
- ⑦ 録音/停止ボタン
- ⑧ 早送りボタン
- ⑨ 再生/停止/電源ボタン
- ⑩ 内蔵スピーカー
- ⑪ USB端子
- ⑫ モード/一時停止ボタン
- ⑬ 消去ボタン
- ⑭ フォルダ/録音残時間/リピートボタン
- ⑮ 音量+ボタン
- ⑯ 音量-ボタン
- ⑰ マイク感度スイッチ
- ⑱ VOXスイッチ
- ⑲ ホールドスイッチ
- ⑳ 電池カバー

4 USBケーブルの使い方

本機とパソコンを付属のUSBケーブルを使って接続します。録音した音声ファイルをパソコンに保存することができます。保存方法はパソコンメーカー様にお問い合わせください。



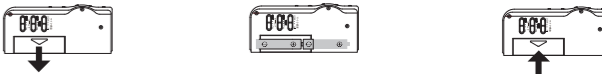
※パソコンにUSB接続している時は、本機での操作はできません。

LPモードで録音したファイルはそのままではパソコンで再生出来ません。以下の手順で、変換してからパソコンで再生してください。

- ① 本製品とパソコンを付属のUSBケーブルで接続してください。
- ② マイコンビューターを開き、新たに出来たCDROMドライブをクリックしてください。
- ③ 『IQR_Convert_setup』をクリックするとインストールが始まりますので、『Next』ボタンをクリックして画面を進め、最後に『Install』ボタンをクリックするとインストールが完了します。※途中『Create a desktop icon』にチェックを入れるとデスクトップにアイコンを作成します。
- ④ デスクトップ又はスタートボタンから『IQR_Convert』をクリックして実行します。
- ⑤ 右記のような画面が表示されたら『Open』をクリックし、マイコンビューターから本機に該当するリムーバブルディスクを選択→FOLDERA～FOLDERD選択→変換したいLP録音ファイル『LPSH***.ACT』を選択します。※※※(数字)は各フォルダ001から順番に振られます。
- ⑥ 『Convert』ボタンをクリックすると変換が始まり、元のファイルと同じ場所に保存されます。
- ⑦ 再生ボタンや停止ボタンを押すとその場で再生、停止することができます。

※日本語には対応していません。

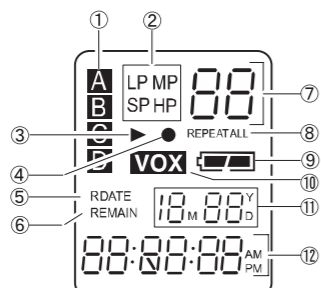
5 電池の入れ方



電池カバーの矢印部を軽く押し下しながら下にずらして開けてください。
単4乾電池(別売・市販品)を2本、+と-の向きを確認して入れてください。

※ご注意
電池の極性+/-は絶対に逆にして挿入しないでください。本製品や電池が破損するだけでなく、思わぬ事故の原因となってしまう可能性がありますので十分にご注意ください。

6 ディスプレイ説明



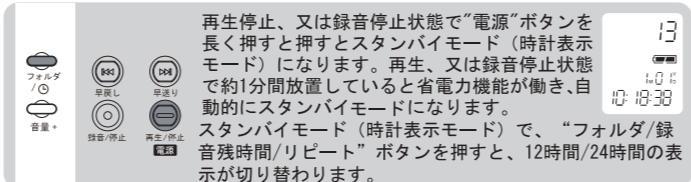
- ① 選択しているフォルダ
- ② 録音モード
- ③ 再生状態アイコン
- ④ 録音状態アイコン
- ⑤ 録音日時付表示アイコン
- ⑥ 録音残時間表示アイコン
- ⑦ ファイル番号/西暦(下2桁)
- ⑧ REPEAT状態アイコン/REPEAT ALL状態アイコン
- ⑨ 電池残量アイコン
(※アイコンが点滅したらすぐに電池を交換してください)
- ⑩ VOX機能アイコン
- ⑪ 日付表示
- ⑫ 日時設定モード(DATE SET)状態表示/音量/プレイモード表示
(PLAY・PAUSE・DELETE・DELETEALL)
/録音残時間表示/再生経過時間表示

7 電源を入れる、切る

“電源”ボタンを長押しすると、電源が入ります。時計が表示された場合は“電源”ボタンを長押しすると、電源が切れます。再度、長押しすると、電源が入ります。

※録音、停止状態で約1分間何も操作をしないと、電源が切れます。

8 スタンバイモード

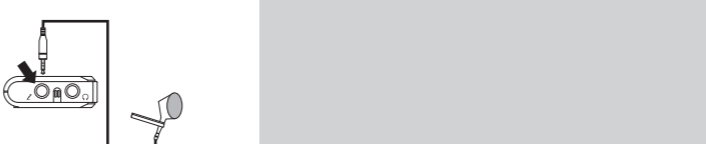


※スタンバイモードで約1分間放置していると、自動的に電源が切れます。

9 イヤホンを使用する場合

モノラル
※聞こえずらい時はイヤホンを使用してください。
※ステレオイヤホンを使用することもできますが、出力はモノラルのため、左右同じ音が聞こえます。

10 外部マイクを使用する場合



11 時計の設定

1. “電源”ボタンを長く押し電源をオンにします。
2. “モード/一時停止”ボタンを約1秒長く押し時計設定モードにします。(60秒間何も操作しない場合、スタンバイモードに切り替わります。)
3. “音量-”ボタンを2回押します。“早戻し”/“早送り”ボタンを使って「年」に西暦の下2桁を入力してください。
4. 入力し終えたら“音量-”ボタンを押して「月」に移動し、「年」と同じように“早戻し”/“早送り”ボタンを使い設定してください。
5. 同じ操作を繰り返し、「日」「時」「分」も設定してください。
6. “モード/一時停止”ボタンを短く押しと時間設定が終了します。“モード/一時停止”以外のボタンを押すと設定がキャンセルされます。

※電池が切れたり電池を抜いた時、又は本機の画面にLOW BATTERYと表示された場合、時計設定はリセットされますので予めご了承ください。
電池を入れなおした後に再度設定しなおしてください。

12 録音モードの設定

1. “電源”ボタンを長く押し電源をオンにします。
 2. “モード/一時停止”ボタンを長く押し録音モードの設定画面が表示されます。
 3. “早戻し”/“早送り”のボタンを押し、モード(LP/MP/SP/HP)を選んでください。
- | モード | LP | SP | MP | HP |
|------|-----|------|-----|------|
| 録音時間 | 長い | ← | → | 短い |
| 音質 | 低音質 | 標準音質 | 高音質 | 最高音質 |
- ※LPモードは声質が変わりやすいのでご注意ください。
大事な録音はHPモードでの録音をお勧めします。
4. 決定する場合、再度“モード/一時停止”ボタンを押してください。

13 録音の仕方

1. “電源”ボタンを長く押し電源をオンにします。
2. “録音/停止”または“再生/停止/電源”ボタンを押して録音モードが表示されます。
3. 右側面の“フォルダ/”ボタンを短く押し録音先のフォルダを指定します。“A, B, C, D”から選択します。
※以前録音したファイルは消去を実行しない限り上書きされません。
4. “録音/停止”ボタンを押すと録音が始まります。
※ディスプレイの電池マークが点滅したらすぐに録音を停止して電池を交換してください。そのまま録音を続けるメモリーに保存されない可能性があります。
※メモリーがいっぱいになると録音が出来ませんので、不要なファイルを消去してから再度録音してください。
- 4-1. 録音中に“フォルダ/”ボタンを押すと録音残時間(REMAIN)が表示されます。
5. 録音を終了する場合は“録音/停止”ボタンを押してください。

14 再生の仕方

- “電源”ボタンを長く押し続けて電源をオンにします。
- “録音/停止”または“再生/停止/電源”ボタンを押して再生モードが表示されます。“フォルダ/”ボタンを押して録音先のフォルダを指定します。“A、B、C、D”から選択します。
- “早戻し”/“早送り”のボタンを押し、ファイルを選択します。
- “再生/停止”ボタンを押すと再生が開始されます。
- 再生を一時停止する場合は、“モード/一時停止”ボタンを押してください。再開する場合は再度“モード/一時停止”ボタンを押してください。
- 再生を途中で終了する場合は“再生/停止”ボタンを押してください。

15 早戻し/早送り

- 再生モード状態で“早戻し”/“早送り”ボタンを長く押し続けると、押した分だけ早戻し/早送りになります。

16 ボリュームの調節

- 再生モード状態で音量+/-ボタンで調節する事ができます。

17 リピート再生

- ファイル再生中に“フォルダ/”ボタンを長く押し“REPEAT”と表示され再生中のファイルを繰り返し再生します。
- もう一度“フォルダ/”ボタンを長く押し“REPEAT ALL”と表示され、再生中のフォルダ内全てのファイルを繰り返し連続再生します。
- さらに1回長く押しすることでリピートモード解除となります。

18 A-Bリピート再生

- ファイル再生中にリピートを開始したい位置Aで“フォルダ/”ボタンを押します。
- 画面に“b”が点滅し、終点にしたい位置bで再度“フォルダ/”ボタンを押すと“A-b”間を繰り返しリピートします。
- さらに1回押しすることでリピートモード解除となります。

19 ファイルの削除

- 14「再生の仕方」の1~3を参考にして消去したいファイルを表示させます。
- “消去”ボタンを押すと画面に「dEL」と表示され、確認のためにファイルが再生されます。
- 3-1. 決定の場合すぐにもう一度“消去”ボタンを押してください。ファイルが削除されます。
3-2. 削除をキャンセルする場合は“消去”以外のボタンを押してください。

20 フォルダ内の全てのファイルを削除する

- “電源”ボタンを長く押し続けて電源をオンにします。
- “録音/停止”または“再生/停止/電源”ボタンを押して再生モードが表示されます。
- “消去”ボタンを長く押しと画面に「no」 「dELALL」と表示されます。
- 4-1. 決定なら“早戻し”/“早送り”ボタンで「YES」を選択して“消去”ボタンを押してください。ファイルが削除されます。
4-2. 削除をキャンセルする場合は“早戻し/早送り”ボタンで「no」を選択して“消去”ボタンを押してください。

※削除されたファイルは元に戻すことが出来ません。よく確認してから削除してください。

21 ホールド機能

- ◆誤作動を防ぐためにボタン操作を無効にする機能です。
- 裏面の“ホールド”スイッチを切り替えてON/OFFを設定してください。右側にスライドするとホールド機能がON状態になります。解除する際は左側にスライドしてください。
※ホールドONにしても電源ボタンを押すとONになります。電源が入ってしまうと電源ボタンを押しても切れません。

22 VOX機能

- ◆音声の有無を感知し、音があるときだけ録音する機能でメモリーを節約する事が出来ます。
- 裏面の“VOX”スイッチを切り替えてON/OFFを設定してください。右側にスライドするとVOX機能がON状態になります。解除する際は左側にスライドしてください。
- ※最初の録音開始前に必ず設定してください。

23 マイク感度

- ◆マイク感度の設定機能です。
- 裏面の“マイク感度”スイッチを切り替えてLOW/HIを設定してください。右側にスライドするとHIになります。LOW設定の場合は左側にスライドしてください。(設定の目安 LOW: 20cm程度の距離 HI: 1m程度の距離)

24 他機器からの録音

- “電源”ボタンを長く押し続けて電源をオンにします。
- (別売、市販品)のラインケーブルをマイクジャックに差込み、他機器の出力端子と接続します。
- 接続している他機器を再生し、録音を始めたい箇所まで本機の“録音/停止”ボタンを押して録音を開始します。

25 他機器への録音

- “電源”ボタンを長く押し続けて電源をオンにします。
- “録音/停止”または“再生/停止/電源”ボタンを短く押しと録音モードが表示されます。音量を6程度に設定しておきます。
- (別売、市販品)のラインケーブルをイヤホンジャックに差込み、他機器の入力端子と接続します。
- 接続している他機器を録音状態にし、本機の“再生/停止”ボタンを押して録音したいファイルを再生してください。

26 ご注意

- 本機を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
- 株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本機および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
- 本機を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- また、弊社は本機に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどを行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくは弊社にご連絡ください。
また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

①弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
②本機をお使いになって生じたデータの消失または破損
③本機のために費やした時間、経費
④本機に付随する、または運用の結果もたらされた損害
⑤本機によりもたらされるべき、直接的、間接的な効果および利益の損失
⑥本機をご使用になって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

また、本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、キュリオムサポートセンターまでご連絡ください。

27 トラブルシューティングFAQ

症状	考えられる原因	処置・対策
画面に何も表示されない。	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
録音できない。	電池の極性が間違っている。	+/-を正しく入れてください。
	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	ホールドスイッチがONになっている。	ホールドスイッチを解除してください。
	ファイルがいっぱいでメモリ容量が足りない。	いくつかファイルを削除してメモリ容量に空きを作って下さい。
再生できない。	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	ホールドスイッチがONになっている。	ホールドスイッチを解除してください。
再生してもスピーカーから何も音が聞こえない。	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	ボリュームが小さい。	ボリュームを調節してください。
	イヤホンが接続されている。	イヤホンを抜いてください。
再生してもイヤホンから何も音が聞こえない。	ボリュームが小さい。	ボリュームを調節してください。
	イヤホンが正しく接続されていない。	イヤホンプラグを完全に差し込んでください。
画面に「FULL」と表示される	1つのフォルダに99ファイル保存されていて、いっぱいになっている。	いくつかファイルを削除してください。
	録音時間がメモリいっぱいになっている。	いくつかファイルを削除してください。
ボタンを押しても反応しない。	システムエラーを起こしている。	電池を一旦取り外し、再度入れなおしてください。

※長時間使用しない時は、バッテリーを抜いて保管して下さい。抜かない場合、液漏れの原因となります。
※乾電池の容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。

28 アフターサービス

- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
 - 保証期間はお買上げ日より1年です。詳細は保証書をご覧ください。
 - アフターサービスについてのご不明な場合は、本書に記載のお買上げの販売店かキュリオムサポートセンターにお問い合わせください。
- キュリオムサポートセンター: ☎0570-00-9106
受付時間: 月~金 午前10時~午後5時30分(土・日・祝祭日・年末年始を除く)
※ナビダイヤルは一部のご利用になれない場合がございます。
メールでのお問い合わせは E-mail: support@qriom.com
ホームページ: http://www.qriom.com

個人情報のお取り扱いについて
株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報や適切な管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

バックアップのおすすめ
万一の誤消去や、レコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備としてパソコンまたはメモリーカードに保存してください。

29 お手入れの仕方

- プラグの清掃
イヤホンプラグは柔らかい布などでからぶきしてください。汚れていると、雑音や誤作動の原因になります。
- 本体の清掃
汚れは、ぬるま湯か台所用中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼって拭き、さらに乾いた布で洗剤が残らないようにお手入れをしてください。

お願い

- お手入れにはシンナー、ベンジン、みがき粉、化学ぞうきんなどは使用しないでください。破損、変質の原因となります。
- 本体のまる洗いはしないでください。故障の原因となります。

30 点検のお願い

- 点検のお願い
- 安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。
- 使用中に本体が異常に熱くなる。
 - 使用中に異常な音や振動がある。
 - その他の異常がある。
- ★異常があれば
故障や事故防止のため、本体から乾電池を抜いて、お買上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

31 故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
操作ボタンを押しても動作しない	●乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換してください。
イヤホンから音がでない	●イヤホンの接続が不安定になっている ●音量が下がっている	イヤホン端子にプラグをしっかりと差し込んでください。 音量をお好みの大きさにしてください。
雑音が入る	●イヤホンの接続が不安定になっている ●乾電池が消耗している ●イヤホンプラグが汚れている	イヤホン端子にプラグをしっかりと差し込んでください。 新しい乾電池と交換してください。 イヤホンプラグを清掃してください。

32 仕様

◆外形寸法	W46 × D15.6 × H102mm
◆重量	約40.6g (電池含まず)
◆対応フォーマット	ADPCM (オリジナル方式)
◆対応ビットレート	LP: 8kBPS, SP: 32kBPS, MP: 64kBPS, HP: 96Kbps
◆内蔵メモリー	4GB
◆液晶パネル	セグメントLCD
◆出力端子	イヤホン端子 φ3.5mm モノラル
◆入力端子	外部マイク端子 φ3.5mm モノラル
◆最大出力レベル	イヤホン 5mW スピーカー 100mW
◆再生周波数範囲	300~3000Hz
◆外部インターフェイス	USB 2.0
◆電源	単4形アルカリ乾電池×2 又は充電電池(推奨容量700mAh)×2
◆連続録音電池持続時間	約15時間(単4形アルカリ乾電池の場合)
◆連続再生電池持続時間	約17時間(単4形アルカリ乾電池の場合)(スピーカー音量11)
◆最大録音時間	LP 約1080時間 SP 約272時間 MP 約136時間 HP 約90時間
◆フォルダ/ファイル	4フォルダ/99ファイル(1フォルダあたり)、合計396ファイル

33 著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。